

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立今里小学校の結果

～分析から見てきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	東成区
学 校 名	大阪市立今里小学校
学 校 長 名	山崎 直樹

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立今里小学校では、第6学年 20名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立今里小学校の結果概要

教科	平均正答率（％）		
	今里小学校	大阪府（公立）	全国（公立）
国語	53	59	60.9
算数	52	56	56.4

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる」や「考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる」という項目について正答率が非常に高かったのは、日ごろから相手がわかるように説明する文章を書くことを繰り返し行っているなかで、当該能力、知識が高まっていると考えられる。

【算数】

「数と計算」の領域においては、各問題の正答率は概ね高い。この点については、授業時間のみならず、昼休み後の短時間学習の時間などを使い、計算問題に繰り返し取り組むなかで培われたものと考察する。一方で、「変化と関係」の領域の正答率がおもわしくない。この点を課題として、問題を把握する力および考えを応用する力を高めるための取り組みをいっそう進めていく。

質問調査より

■生活習慣について

「朝食を毎日食べている」児童が91%、「規則正しい睡眠・起床」ができている児童が約8割に達しており、多くの児童で基本的な生活習慣の定着が見られる。一方で、一部の児童には健康面や生活リズムの乱れが懸念されるため、継続的な支援や家庭との連携が必要である。

■児童の自己肯定感・人間関係等について

「自分には良いところがある」「友だち関係に満足している」「いじめはいけなと思う」「将来の夢や目標を持っている」などの項目では、8～9割の児童が肯定的に回答している。一方で、否定的な捉え方をしている児童もいることから、個別事情に配慮しつつ一人ひとりに寄り添ったフォローアップを進める必要がある。

■ICT活用と主体的な学びについて

ICT機器を活用した学習では、情報の「収集・整理・表現」ができると実感する児童が多く、学びの深まりや表現力の向上につながっている。さらに、学習内容を振り返り、生活や次の学びに結び付ける力も育まれており、主体的な学びが着実に定着していることがうかがえる。

今後の取組（アクションプラン）

今後の取組（アクションプラン）として、教科指導のさらなる充実を図ることはもとより、児童が心理的に安心できる学習環境の醸成と、将来に向けて志をもって学ぼうとする「学びへの動機付け」を教育活動の根幹に据える。その具体化に向け、本校の教育目標に基づき、以下の重点施策を推進する。

第一に、「他人の気持ちに寄りそえる思いやり深い子ども」の育成である。平和学習や道徳・人権教育をさらに充実させ、互いの違いを認め合い尊重し合える豊かな感性と人権感覚を育む。他者への共感性を培うことで、誰もが安心して自分らしく学べる環境を構築していく。

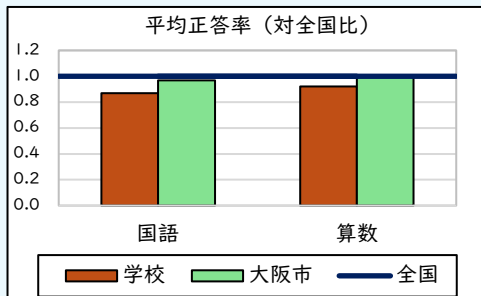
第二に、「いつも夢や目標を持ち、めざすことを楽しめる子ども」の育成である。キャリア教育を一層充実させ、児童の視野を未来社会や世界へと広げる。多様な体験を通じて知的好奇心を高める活動を展開し、自らの夢や目標に向かって主体的に挑戦する意欲を育てていく。

こうした豊かな人間性と目的意識という土台を丁寧に整えることで、児童の「自ら学ぼう」とする意識が向上する。この主体的な学びの姿勢を基盤に、ICTやAI等を有効に活用した工夫ある指導を行うことで学習効果は一層高まり、児童一人ひとりの確かな学力向上につながると確信している。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

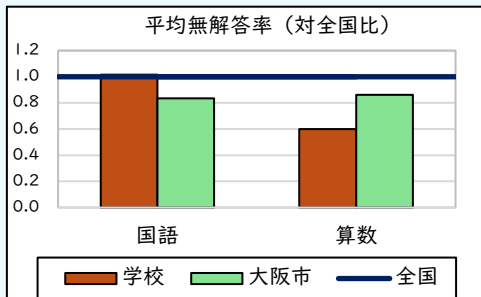
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	53	52
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



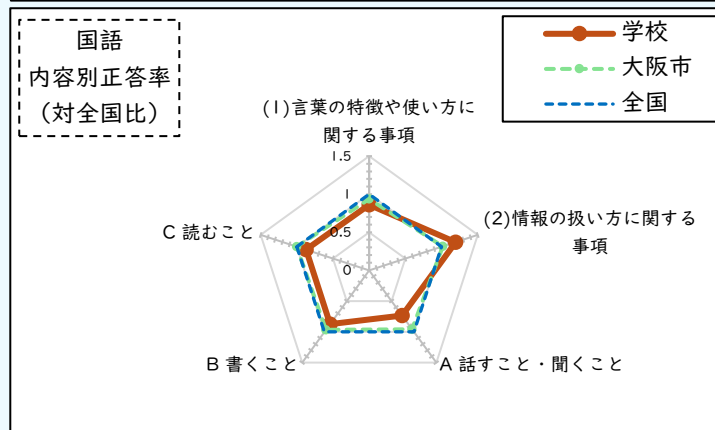
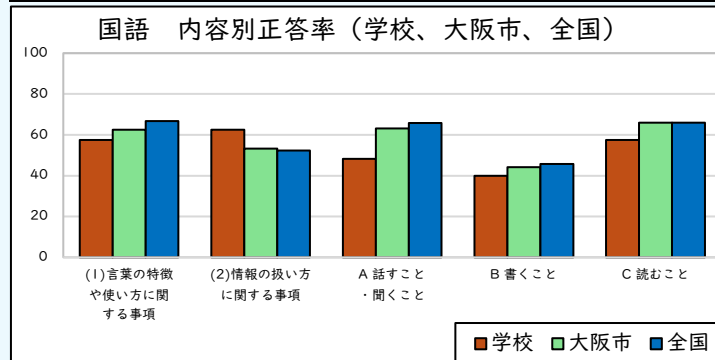
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	3.5	1.9
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



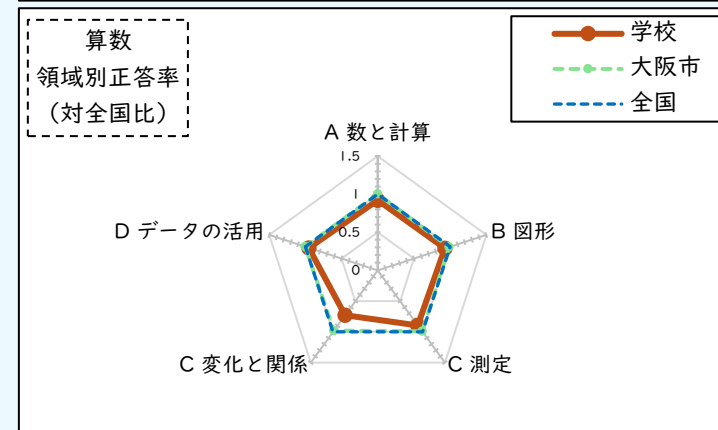
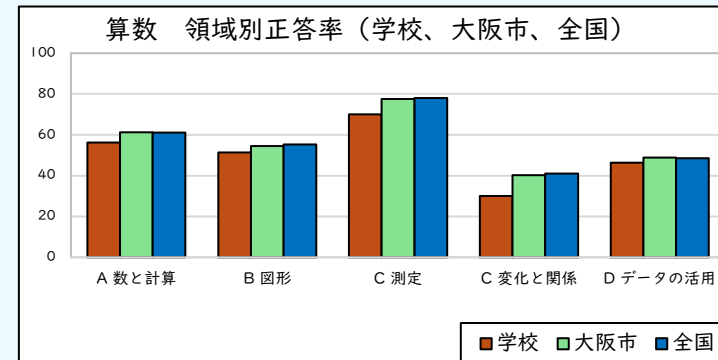
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	57.5	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	62.5	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	48.3	63.1	65.8
B 書くこと	2	40.0	44.2	45.7
C 読むこと	2	57.5	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	56.3	61.2	61.1
B 図形	4	51.3	54.5	55.3
C 測定	1	70.0	77.5	78.1
C 変化と関係	3	30.0	40.3	41.1
D データの活用	4	46.3	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

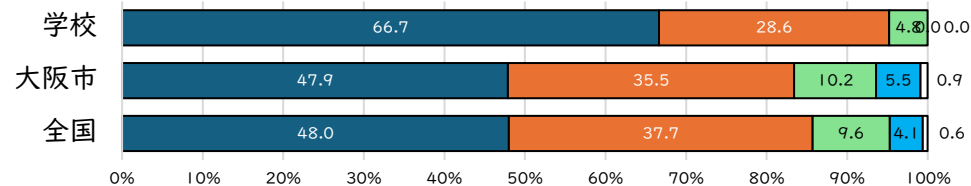
質問番号

質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(15)

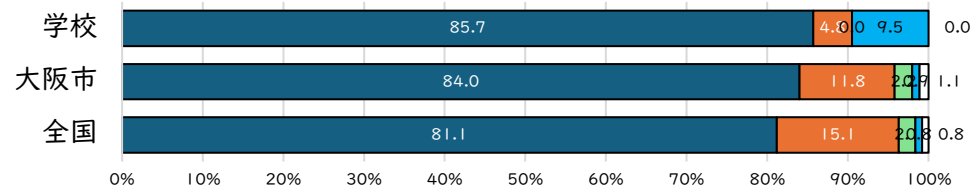
学校に行くのは楽しいと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(12)

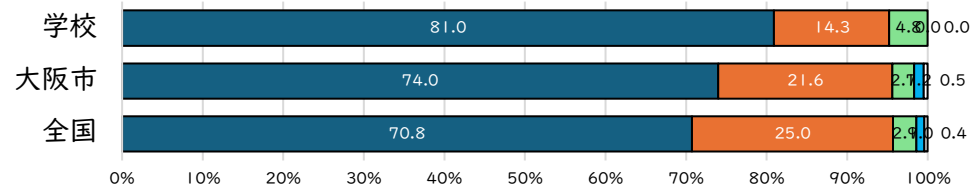
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(14)

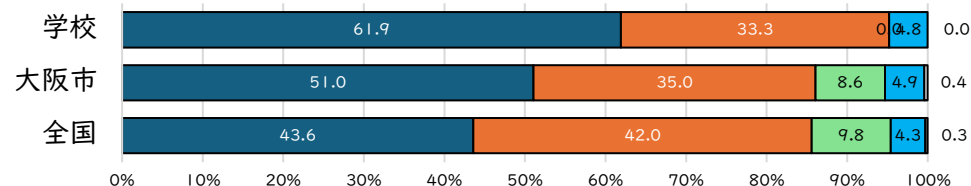
人の役に立つ人間になりたいと思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(8)

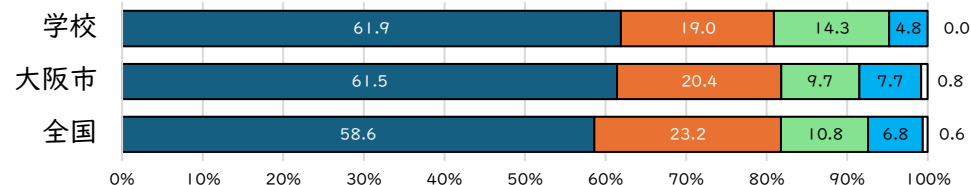
自分には、よいところがあると思いますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(10)

将来の夢や目標を持っていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

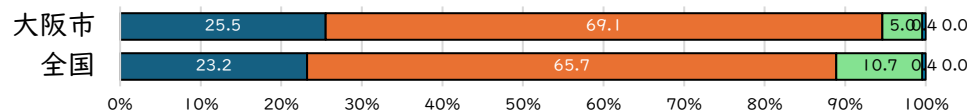
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(7)

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

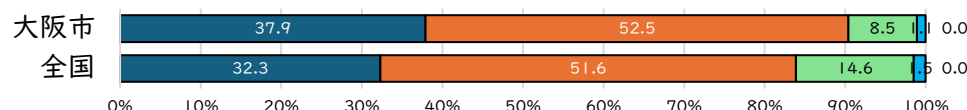


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(8)

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

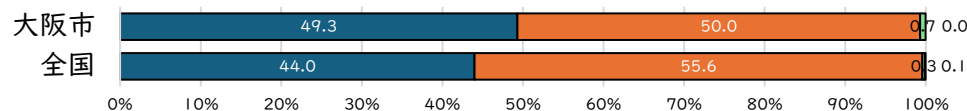


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(16)

ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか

【学校の回答】 1 十分に取り入れている

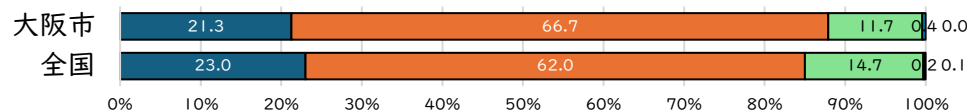


1 十分に取り入れている
2 一部取り入れている
3 全く取り入れていない

(37)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

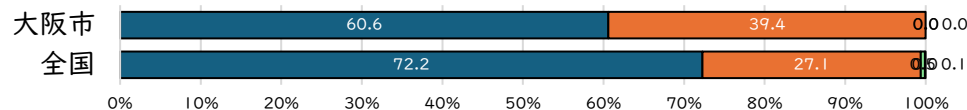


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(21)

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していますか

【学校の回答】 1 そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない